

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

万騎が原地域ケアプラザ

■ 事業報告

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

- ・万騎が原地域ケアプラザエリアは万騎が原・旭南部の2連合で構成されている。万騎が原地区は高齢化率が高い地域となっており、旭南部地区は子育て世帯が多い地域で、それぞれの連合の地域性やニーズに合わせた幅の広い地域支援に取り組む必要がある。
- ・連合自治会や地区社会福祉協議会等を始めとした地域の組織や地域住民・ボランティア団体・学校・福祉やその関連領域の専門職及び関連施設等の組織などと連携し地域の生活課題に向けて取り組む。
- ・エリア内の医療・介護保険事業所・福祉保健関係機関との連携・ネットワーク構築を強化するための機会を創出する。
- ・地域の取組や実態把握等により住民相互の「つながり」作りや、地域の福祉力を向上させるような事業等の取組を行う。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ・各地域組織と連携をはかり、相談を円滑に進める体制を整える他、地域組織・団体からの問い合わせにも柔軟に対応できる様、協力関係を維持した。
- ・フォーマルサービス、インフォーマルサービスの冊子等を活用し、問い合わせへの対応や利用支援に役立てている。「元気作りマップ」や「地域活動紹介一覧」などを活用し、既存のボランティア団体への利用者の紹介等を行いながら、地域の活動を維持する為の支援も行った。
- ・関係部署に相談内容が正しく速やかに伝わるように職場内の連携を強化した。

(2) 各事業の連携

- ・月1回程度実施の「予防委員会、多職種委員会」では、共催事業の打ち合わせ、地域情報の共有化、研修・会議の報告、提出書類の検討等実施。また、会議以外の場合でも随時報告・連絡・相談が出来る体制作りを構築すると共に、各部署が実施している新規・既存の事業に相互に関わることで協力体制を維持した。
- ・権利擁護、認知症支援、子育て、障がい児・者支援、高齢者の生活支援等の事業実施においては、相互に情報交換・協力し、地域福祉の向上を目指した。
- ・「第三期地域福祉保健計画」推進においては、地域活動交流及び生活支援体制整備事業のほか、地域包括支援センター職員にも地区別計画推進の支援チームの担い手として、行事への参加や会議へ参加するなどし、連携体制を維持した。
- ・地域内での介護予防に資する活動団体や「元気づくりステーション」においては、地域の活動が維持出来るよう、多職種での支援を継続して行った。
- ・高齢分野の地域支援をより具体的に行う為、高齢者包括支援委員会「瑞鶴」を上半期まで月1回継続実施した。地域包括支援センターの看護師、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターの三職種で、出席した会議報告や地区状況

の共有、介護予防事業の検討、行政からの報告事項の共有を行った。二俣川地域ケアプラザ開所に伴う体制変更の為、委託系職員全体で情報が共有できるよう、多職種委員会で取り扱う内容の改善を図り、統合する形となった。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・職員は、基準やマニュアルに即して配置した。各職員は教養を積むよう努め、職場に愛着がもてる関係を築けるよう、職員間相互に連携を深めることが出来た。
- ・職員育成については、各部門において研修を行い、安全かつ効率的な業務遂行が出来るよう指導を行った。また定期的に施設内研修を行い、職種に即した専門知識、技術の向上を図った。
- ・施設外研修に職員（非常勤職員を含む）は積極的に参加し、モチベーションの向上、情報交換等を行った。また、研修内容に関しては職種に関わらず職員全員が各委員会・職員会議等で情報共有出来るように行った。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・地域の関係機関・団体との連携や、地域福祉保健計画推進の為、地区での会合・行事に積極的に参加し、顔の見える関係作りに努めた。本年度より万騎が原地区の民児協に地域活動交流及び生活支援体制整備事業の職員が定例参加し、個別ケースを持たない地域支援2職種が地域内の個別事例について学び、業務に生かすための機会として、会議に参加し、学ばせていただいた。
- ・「万騎が原地域支えあいネットワーク」においては、会議の開催形態の検討を行い、地域福祉保健計画が適切に推進できる体制を、多職種での会議の他、地域の代表者の方に意見を伺う等し、再構築に向けた準備を行った。
- ・障害事業所と地域との連携を進めるための会議「障害事業所 地域連携検討会」を昨年に続いて実施。本年度においては二俣川地域ケアプラザとの共催で行った。会議については事業所より、地域の連携状況の報告のほか、次年度に向けたイベント企画の検討会議を行った。
- ・包括レベル地域ケア会議は地域課題の検討の場として、今年度は「地域にある公園の有効活用を考える」をテーマとして開催した。（6月及び2月実施）
- ・地区内の地域サロンの活動支援（情報交換）の一環として本年度も「地域サロン交流会」を実施。（2月実施）
- ・地域の福祉保健活動団体「かけはしねっと」をはじめとした諸団体との連携・情報交換も行うと共に、活動支援も行った。

(5) 区行政との協働

- ・ケアプラザが地域の福祉保健の拠点としての機能や、地域と行政との間を取り持つ調整機能を果たせるよう配慮した。
- ・地域活動交流においては、区との事業は行事担当として携わった「旭ふれあい区民祭り」等の事業や、ケアプラザの周知活動等で連携し、地域福祉の推進を図った。
- ・第三期地域福祉保健計画推進に関わる各地域の会議にも支援メンバーとして行政職員と共に出席し、推進内容の検討、情報共有、地区の取組の支援等協力しながら地区支援を行った。
- ・「元気づくりステーション」の活動継続のための支援を、区の担当者と連携を密にして行った。
- ・「よこはまウォーキングポイント」や「よこはま健康スタンプラリー」の実施対象施設にエントリーし、行政が目指す介護予防・健康維持の計画に即した取組を行った。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・ 自主事業は、必要性や発展性を検討した上で実施。継続して実施する必要性のある予防事業や自主化が最適でないものに関しては継続して自主事業として行った。また、地域の力を生かすことを目的に、地元のボランティア講師へ協力を要請した他、サブコーディネーターの固有スキルを生かした事業を開催することにより、より施設を身近に感じてもらえるように実施した。多職種連携における事業では介護者支援「みんなで介護」において「鯛カフェ」を試行実施した。
- ・ 二俣川地域ケアプラザ開所に伴い担当エリアが減ったため、地区内の活動団体との連携をよりきめ細やかに行った。既に連携状態にある活動支援との共催事業実施の他、「あさひ漢字塾」の周知、「すみれ会」へのヒアリング等、新たな団体の情報収集と連携の礎を構築し、次年度事業等に結びつける。
- ・ 地区社協や民児協、「ひなたぼっこ」等の関係機関とも協力し、多世代交流事業を視野に入れた共催事業を企画・実施。子育て中の母親の地域での活躍の場の創出を目的に実施した「こども日本舞踊」は、万騎が原地区敬老会での演舞を披露する機会を設けた他、「地域サロン」と「公園で遊ぼう」のコラボ企画等、年齢・性別等を問わない誰もが気軽に参加できる事業を連携して行った。
- ・ 「みなまきラボ」とは、多世代交流事業や、子育て広場の開催、大学生が万騎が原中央商店街を活用しての地域おこしイベントを企画する際に、地域の実情の説明を行う等の連携をとった。
- ・ 地域の障害事業との連携も昨年度に引き続き実施。地区との共催事業への出店依頼の調整等で協力体制を図った。
- ・ ケアプラザ同士の連携においては「合同歌声喫茶 2018」や、「旭ふれあい区民祭り」等の共催事業の実施の他、地域活動交流研究部会担当として市域の情報提供や検討内容についての報告を適宜行い、情報共有と連携の強化を図った。
- ・ 「旭区ひまわりの会」の定例会に参加。団体の活動支援と、地区内での「認知症サポーター養成講座」の開催調整や自主事業の企画で連携した。(1月、3月実施)
- ・ 地域活動交流コーディネーター連絡会に研修予算費が執行されることを機に、連絡会の体制見直しの為「連絡会の在り方検討会」を立ち上げ、次年度に会議の形態の変更、研修企画の検討、研究グループの設置を視野に検討を進めた。
- ・ 「災害ボランティア連絡会」の広報担当として、各種会議等への参加や広報物の作成に協力した。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ 新規の貸室利用に関しては「貸室利用の手引き」をはじめとした書類を用意し、地域の方が利用しやすいよう説明等を行った。
- ・ 貸室利用については、各団体への事前説明の他、団体の登録の更新を行うための手続きを個別に丁寧に行い、引き続き各利用団体が利用しやすい環境を整えた。また、貸室内の荷物の整理を行い、利用しやすい施設となるように努めた
- ・ 部署内で接遇研修等を行い、受付・電話対応等の丁寧な対応と、分かりやすい説明を心がけた。
- ・ 新規貸室利用団体は多くはないが、活動場所としての情報提供・周知は、地域の行事や地区組織の定例会議に出向く際等にも積極的に行った。
- ・ 施設の立地上の問題に関しては、高齢者の増加により、地域の方より改善要望が出ているため、法人に引き続き働きかけていく。
- ・ 地域内で活動を希望される方に対しては、ケアプラザとの連携体制が出来ている関係機関の場所も提示し、身近な場所で活動が始められるような情報提供等も行った。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ ボランティア講座を始めとした自主事業等を通じて、地域の担い手を発掘・育成すると共に、継続的に活動が行える様に支援を行った。
- ・ 有償ボランティア「リトルサービス」においては、事務局として依頼の受付を始めとした各種活動支援を実施した。また、担い手不足などの問題を考慮し、依頼が増加している旭南部地区を中心に現状報告と課題共有の場を設け、住民相互の支え合い体制作りに着手した。
- ・ 学齢障がい児余暇支援活動「きらっとハピネス♡」の活動を継続的に支援。ボランティア募集方法の検討や、活動への適切な受け入れが出来る様に調整を図った。また、プログラムに近隣障害事業所と連携した企画を組み込む調整等も行った。
- ・ 高齢化で地域・サークル活動の担い手不足が顕著である為、ボランティア育成を行いつつ、各事業は予防事業を中心に、集える場を増やし、維持させることを主眼に置いて運営を行った。
- ・ 次世代のボランティア育成の為、小・中学生の職場体験等の受け入れや、施設職員による職業講話等調整した。職場体験においては、適切な学習と指導、ボランティアへの結びつけが出来るよう内外部との調整を図った。また、本年度は小学校での「認知症サポーター養成講座」を関係団体と協力し行った。
- ・ 万騎が原中学校のボランティア部と連携し、引き続き施設内外での受け入れ態勢が維持できるよう配慮した。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・ 広報誌「あなたと優駿」及び、掲示用広報誌を月1回発行し、地域住民へ福祉保健に関する情報提供や自主事業の募集案内、地域の行事や障害事業所やサロン活動等の情報を掲載した。また旭南部連合の機関紙と連携し、ケアプラザの事業の紹介を掲載して頂き、地区の広報と双方で協力しながら情報の共有と周知を行っている。
- ・ 万騎が原地域ケアプラザのホームページも広報誌と共に活用。地域の方に広く情報提供をすの一助となっている他、活動団体「かけはしねっと」のホームページにも、引き続きケアプラザの情報を掲載して頂いており、双方を連携させて情報発信が出来るように取り組む事が出来た。
- ・ 情報提供として受付付近に地域資源の一覧や福祉マップ、各種福祉保健に関するチラシ類を配置。
- ・ 貸室内や廊下に自主事業の紹介を掲示。参加者募集と活動の様子を地域の方に周知している。
- ・ 地域包括支援センターの看護師や生活支援コーディネーターと共に作成した「元気づくりマップ」を会議の場や事業参加者に説明と共に配布し、周知を図った。
- ・ 自主事業の参加者募集に関しては、広報誌の他、個別の事業のチラシ作成や地区組織にチラシ配布をお願いする等の手段で新規の参加を募った。
- ・ 地域活動交流研究部会の担当として、区内ケアプラザへ福祉保健に関わる地区の取組の情報提供と、市域での取組の報告を行った。
- ・ 地域の情報収集に関しては、地域包括支援センターや生活支援体制整備事業と共に、区広報の確認や、地域の方との日頃のやり取り、地区のサロン活動、地区社協や老人会等、地区組織の定例会に積極的に参加させていただき、情報を得る他、地域の掲示板等も活用し、業務に反映した。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・地域で開催のサロンに地域包括支援センター・地域活動交流職員と出向き、情報収集・関係作り・生活支援体制整備事業と生活支援総合事業の周知に努めた。
- ・地域資源の情報更新や収集の他、ケアプラザエリアで「サロン交流会」を3月に開催した。
- ・「ふらっとハイム」の活動支援の他、「みんなの集いの場」を地域の方と連携し、継続実施した。
- ・桐が作エリアにおいて、自治会婦人部・1層生活支援コーディネーター・地域包括支援センター包括職員とともに協議の場を設け、地域サロン「桐が作ほっと」が立ち上がった。
- ・有償ボランティア「リトルサービス」の高齢化や担い手不足の課題、旭南部地区での地域の依頼に対して、地域の方と多職種で協議の場を設けた。次年度も引き続き住民相互の支え合いの体制作りを進めていく。
- ・桐が作地区の自治会の後援をもとに、買い物困難なエリアとグループホームの入居者を対象に、イオンスーパーの移動販売を誘致のため、民生委員・地域包括支援センター・1層生活支援コーディネーターとともに継続的に協議を行った。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・ケアプラザ職員・1層生活支援コーディネーターと連携し、買い物困難と思われる地域へ「移動販売実施に向けての調査」のアセスメントを実施した。
- ・本宿東部自治会エリアで、二俣川駅・鶴ヶ峰駅・バス停から遠い地域の乗り合いタクシーを検討するため、地区の方・1層生活支援コーディネーターと協働し、地域分析やニーズ調査を継続的に実施した。
- ・桐が作エリアにおいて「桐が作ほっと」開催前にパンの移動販売を誘致した他、イオンスーパーの移動販売の誘致に地区にあるグループホーム「サリュールあさひ式番館」にも協力いただく等の調整を図った。

(3) 連携・協議の場

- ・包括レベル地域ケア会議を開催。「地域にある公園の有効活用を考える」をテーマに出席者と地域の課題を共有した。
- ・「ふらっとハイム」では活動支援の他、地域包括支援センターとの連携で「出張相談会」を数回開催した。
- ・地域ケア会議で出た課題を参考に、居場所づくりの「みんなの集いの場」を地区住民や民生委員と連携して開催した。
- ・桐が作地区のサロン立ち上げについて、1層生活支援コーディネーターと包括職員、民生委員と協議し10月に「桐が作ほっと」が立ち上がった。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・ 月 1 回の生活支援コーディネーター連絡会と 1 層生活支援コーディネーター主催の勉強会に出席した。旭区社会福祉協議会・生活支援コーディネーター連絡会主催の 3 部会の「ちょこっとボランティア連絡会」に携わり、担い手不足や各団体の課題解決につなげることができるよう努めるとともに、民生委員・ケアマネジャーとの連携の大切さについて周知をした。
- ・ 7 月に発行された「食品スーパー配達サービス一覧」を各地域の団体・事業所・関係団体や必要とする方々に配布し継続的な買い物支援を行った。
- ・ 11 月に万騎が原地域ケアプラザ居宅介護事業所主催で、地域の事業所との第 2 回共同研修会が実施された際には、生活支援体制整備事業の目的や地域のインフォーマルサービスについて周知に努めた。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- ・ 包括レベル地域ケア会議を開催し、地域課題を民生委員、自治会、居宅介護支援事業所、薬局などと共有し、対応策を検討した。
- ・ 地域の老人会やサロンでの出前講座を積極的に行い、地域包括支援センターの周知やネットワークの構築を図った。

②実態把握

- ・ 各地域の相談内容をもとに、地域の実態把握を行った。
- ・ 訪問や来所、講座終了後にアンケートを実施し、情報収集を行い、地域性を把握した。
- ・ 地域活動交流や生活支援体制整備事業と連携を図り、社会資源の構築を行った。

③総合相談支援

- ・ 相談者の主訴を明確にし、必要な援助や情報提供を行った。3 職種で相談内容の共有や報告を行う事で、相談対応した職員が不在であっても対応できるようにした。
- ・ 地域サロン、民生委員や自治会の集まりに出向き、地域包括支援センターが、地域の相談窓口であることを周知した。併せて広報誌による周知も行った。
- ・ 地域活動交流や生活支援体制整備事業と連携し、インフォーマルサービスの情報提供を行い、地域住民に対して適切な情報提供を行った。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・ 旭区版エンディングノートの書き方講座の中で成年後見制度や相続・遺言・葬儀・お墓などについての講座を実施(3 回シリーズ 10 月)。
- ・ 区内地域包括支援センターの社会福祉士分科会合同で、消費者被害街頭防止キャンペーンを実施。
- ・ 成年後見や相続、遺言、老後の住まいなどについて個別相談会を実施。
- ・ 近隣地域で振り込め詐欺が多発したため、地域住民や関係機関に注意喚起を行った。

②高齢者虐待への対応

- ・虐待ケースに対しては、区役所・関係機関と連携しながら対応した。
- ・介護者支援「みんなで介護」を実施。介護全般、認知症などの勉強会、介護者同士の交流会を行い、介護者負担の軽減を図り、高齢者虐待予防を行った。
- ・高齢者虐待の早期発見、早期対応が出来るよう、民生委員、ケアマネジャー・サービス事業所が相談しやすい体制を整えた。

③認知症

- ・介護者支援「みんなで介護」を実施。10月からはシリーズ認知症と題して、協力医による認知症講座等を実施。参加者からの質問や情報提供もあり、良い意見交換の場となった。
- ・徘徊SOSネットワークについては、地域のサロン等に出向き、周知活動を行った。協賛店とも連携し、地域で住民を支え徘徊高齢者の早期発見に努めた。
- ・認知症カフェ(鯛カフェ)を通年開催に向け11月に試行実施。介護保険制度の講座や協力医によるアドバイスも含めた内容とし、参加者同士の意見交換も行った。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・老人クラブの依頼を受けて制度説明等の出前講座を実施した。
- ・生活支援コーディネーターと連携し、地域のサロン周りや地域情報の収集を務め、顔の見える関係作りを行った。
- ・万騎が原及び旭南部の2連合の民生委員・児童委員協議会の定例会に参加させていただき、地域包括支援センターの紹介や、一人暮らし高齢者見守り事業等で協力関係を築いた。
- ・地域のインフォーマル情報を更新し、事業所連絡会で居宅介護支援事業に情報提供を行った。
- ・介護者支援「みんなで介護」や「医療相談会」については、随時広報誌に掲載する他、ケアマネジャー事業所訪問時に情報提供を行った。

②医療・介護の連携推進支援

- ・エリア内の医療機関8か所へ延べ34回訪問し、地域包括支援センターの周知を図り、相互の個別相談や課題把握につながるよう支援した。
- ・旭区在宅医療相談室とは随時連携を取り、多職種連携会議に参加した。

③ケアマネジャー支援

- ・事業所連絡会を近隣の地域ケアプラザと年4回共催で実施した。テーマは「訪問歯科診療について」「葬儀について知っておくべきこと」「認知症治療の現状、認知症の方への対応」「事例検討会」
- ・エリア内のケアマネジャーを把握し、旭区内地域包括支援センター合同で居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーとの連絡会を開催した。
- ・事例検討会「ダリア」を偶数月に定期開催した。
毎回10名前後の参加者で3～4か所程度の事業所が参加。ケアマネジャーからの相談や困難事例には随時対応し、状況によっては同行訪問や区役所との連携カンファレンスを行った。
- ・担当者会議は委託ケースを中心に19ケースに参加した。
- ・旭ケアネットには上半期は運営委員会支援という役割を持って研修会に参加し、下半期は定例会に参加した。
- ・旭区役所との旭区内地域包括支援センター合同で、年2回新任就労予定ケアマネジャー研修を開催し、2名の個別研修を行った。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・個別ケース地域ケア会議は、地域の関係者とのかかわりのある事例を中心に開催し、情報共有を行った。
- ・包括レベル地域ケア会議「みんなの会議」では万騎が原及び旭南部の2つの連合自治会エリアにある公園の利用状況や現状把握を行い、マッピングを通して情報共有を行った。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・今年度は、担当エリアの一部が、二俣川地域ケアプラザへ移管されたため、利用者にとって不安なく、また移管先である二俣川地域ケアプラザにとって必要な情報が的確に伝えられるよう努めた。
- ・介護予防支援事業所内では毎月会議を開き、担当者が問題を抱え込まない様、事例提出・検討を行った。多職種委員会においては、全ての予定を確認すると共に情報を共有するよう努めた。
- ・委託の場合は担当者会議へ出席するように努めた。また自立支援につながるよう、適宜地域の活動を紹介する等助言を行った。
- ・区域で開催された介護予防ケアマネジメント研修に参加し、開催周知に努めた。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・GOGO!健康講座を南まきが原自治会館・本宿東部自治会館を会場として行った。南まきが原自治会館では、周辺で体操を行う拠点が少ないこともあり、予想よりも多くの方にご参加いただいた。本宿東部自治会館では、その後のケアプラザ事業等への参加へつながったことや、自治会の方より、ここで新たなグループが立ち上がるとよいという意見もあり、次年度再度計画していくことで、地域での定着を目指したい。
- ・既存の活動グループへ適宜訪問、活動状況の把握を行った。メンバーの高齢化に伴い、会員減少で、継続が難しいグループもあるため、「元気づくりステーション」への移行その他、支援を強化するための提案と相談できる体制づくりを次年度に向け検討していく。
- ・担当地域の「元気づくりステーション」3グループは会員減少や講師交代などの課題はあるが、旭区の保健師や地域包括支援センターに相談しやすい連絡体制づくりを取ることで維持・継続が出来ている。南本宿健康麻雀クラブにおいては、運動の機会の習慣化という課題はあるが、常に新規会員がおり、自主的に会の運営が出来ている点においては、男性主体の「元気づくりステーション」の強みではないかと思われる。また、ノルディックひまわりにおいては、今年度介護予防パートナー研修を実施する機会があり、地域住民である会員に介護予防の意義や大切さが伝わったのではないかと思われる。
- ・今年度「みな元気！旭ステーション」に新規に活動を開始した、カラオケあさがおが認定された。比較的少人数の活動である点では、今まで地域の中でのつながりが薄い人でも参加しやすい雰囲気があるため、会の継続・継続の為の支援を次年度も行っていきたい。

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・ 設立 26 年目となるため、建物等の安全面に対し検査等怠らないよう充分配慮し、維持管理・施設等の修繕に努めた。
- ・ 施設整備等の定期点検や施設内清掃業務（委託業者と職員による清掃）、消防設備の点検等を引き続き実施した。
- ・ 多目的ホールをはじめとした各貸室が、市民利用施設として常に清潔で明るく安心して利用出来るよう、施設内の点検・修繕を行った。
- ・ 施設内清掃に関しては、こまめに行うと共に、記録簿をつけ環境美化に努めた。
- ・ 施設利用者の意見をいただきながら、室内の備品を整理・管理した。
- ・ 夏・冬の節電対策を視野にいれ、適切な電力使用を心がけた。また、地域の方にも省エネについての取組を理解していただけるように周知を行った。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・ 運営の効率化を高める為に外部評価(情報公開)を積極的に受け入れ、コストの削減・効率的な人員配置等の見直しを行った。
- ・ 施設管理者および各部署の管理者は、スーパービジョンの目的と機能を充分理解し、職員の研修の機会を確保、職員の資質向上に努め、それぞれに職種の専門性を高められるよう環境を整備し、地域に開かれた施設作りに努めた。
- ・ 施設管理者は事業者の自覚と責任、管理者としての能力発揮のために、自らも各種研修に参加し、研鑽を積んだ。
- ・ 地域や利用者のニーズを把握するために、施設利用者・事業参加者を対象にアンケートを実施し、前向きに検討し改善できることから実行した。
- ・ 各部門、職員が役割分担を適切に行い、事業を円滑に進めるとともに、それぞれの事業内容を把握・理解し協力体制が出来るように委員会活動を行うことで、職場内連携を図った。

(3) 苦情受付体制について

- ・ サービス利用者からの苦情に対しては、管理者・相談員・介護支援専門員・生活相談員・介護職員・看護師等を交えた検討会を迅速に実施した。検討した内容・結果は詳細に記録し、原則として苦情相談者に経過を含めた報告を行った。但し、プライバシーに関する事項は細心の注意を払い、ケースに応じた対応を実施した。
- ・ 定期的に事例検討会を行うと共に、苦情発生時の対応マニュアルを活用し、第三者委員と密接に連絡を取り合うことで地域住民や利用者から寄せられた意見・報告・苦情等を詳細に分析・評価しサービスの改善に努めた。
- ・ 貸室等施設利用時についての苦情受付に関しては、地域活動交流部門等で対応し、所長や区と協議しながら改善を図った。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

防災に関する対応

- ・利用者、職員の安全対策に万全を期すため、避難訓練、消火訓練（水消火器）を定期的実施した。避難訓練では、避難経路の確認や適切な判断に基づき、速やかに利用者の安全を確保し避難・誘導する訓練を実施した。また、併設施設と連携し自衛消防訓練も毎月1回実施した。
- ・福祉避難所として、災害時の要援護者の受け入れに関する地域との話し合いや地域防災拠点との連携を図れるよう、情報交換や実施訓練等に参加し、連携体制を維持した。本年度より施設職員も福祉避難所開設訓練を開始し、防災拠点の機能についての勉強会や、発電機の作動訓練や備蓄物の確認等を行った。
また、災害応急備蓄物資の更新・管理・備蓄物のリスト化の更新等を随時行った。
- ・南本宿消防署の指導のもと、まきが原幼稚園・まきが原愛児園・特別養護老人ホームグリーンサイド清盛・万騎が原地域ケアプラザの各施設合同で防災訓練を年2回、実施。また、炊き出し訓練では防災食を活用して行った。
- ・平成22年度から始まった合同避難訓練については、今年度も年に複数回実施した。
- ・合同避難訓練に関しては、実施計画検討会を複数回各施設と実施し、改善点等検討を行う他、緊急救急対応時の対応方法の研修等に参加し、技術の習得をした。また地域住民の災害救助活動への参加・協力要請も行った。
- ・通所介護・介護予防通所介護部門に関しては、避難訓練週間を設け、職員・利用者が訓練を受ける体制を構築した。
- ・地域活動交流部門においては、併設施設との避難訓練の曜日が固定化されている状況を受け、貸室団体を対象に自主事業の場を活用して独自に訓練を実施した。

防犯に関しての対応

- ・施設の防犯対策として、防犯カメラの設置等、セキュリティの強化を図った。
- ・避難訓練時に不審者対応訓練を実施した。

(5) 事故防止への取組について

- ・職員の事故防止への取組として、事例検討・リスクマネジメントなどを通じて周知徹底・環境整備等を図り事故防止に努めた。
- ・事故発生時には被害を最小限にするため、マニュアルに従って応急処置・家族への連絡・医療機関への搬送・区役所への報告を迅速かつ適切に行った。また、事故報告書を作成し、事故再発防止に向けた取組を会議の場を活用しながら職員間で検討し、今後に向けて周知するよう努めた。
- ・自主事業等に関しては安全上の配慮を優先し、安心して参加出来るように実施した。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・業務で取り扱う個人情報に関しては常に認識・確認すると共に、書類等は慎重に管理するよう徹底した。訪問の際に持ち出す書類等は、必要最少限にする他専用バッグを使うなどし、書類は原則自宅に持ち帰らないようにした。
- ・書類は外部の人の目に触れないよう管理し、業務に個人所有のパソコンなどを使用しないことや外部への情報提供の際には必要最小限にとどめるよう配慮した。
- ・自主事業等実施の際には、事業実施時に参加者に個人情報の取り扱いについての説明を行い、活用についても事業のみに限定した。
- ・地区組織の名簿・関連書類に関しては、厳重な管理下に置き、情報を使用する際には必ず本人に承諾を得るように徹底した。

(7) 情報公開への取組について

- ・ 運営協議会や法人の理事会、地域福祉に関する会議等で、ケアプラザの現状・課題について広く情報公開・共有を行う他、開かれた施設作りに取り組んだ。
- ・ 地域の関係機関の広報・チラシ（区広報誌・区及び各地区社会福祉協議会広報誌・地域活動紹介一覧・区内福祉保健関係機関広報誌・元気づくりマップ 等）は受付前に設置し、常に最新の地域情報が閲覧出来るように更新を行った。
- ・ 地域住民に対しては広報誌「あなたと優駿」（回覧用・掲示用）及び各事業の紹介チラシ等を必要に応じ随時作成。地域の方に回覧・掲示依頼をし、各紙面を通じて積極的に活動内容等を周知した。
- ・ ケアプラザのホームページを活用・更新し、施設の機能紹介のほか、様々な情報発信を行った。
- ・ 施設内に開催している自主事業の一覧を掲示した。また、展示物や掲示物で各活動のPRが行えるようにも配慮した。

(8) 人権啓発への取組について

- ・ 職員は内部研修や外部研修に参加し、人権についての理解を深め、業務に取り組んでいる。通所介護等では利用者の人権を尊重した介護を実施する事が出来た。
- ・ ケアプラザエリア内の障害事業所と連携し、自主事業の実施や、地域のイベントに協力することで障害理解の啓発と、当事者との交流の機会を創出する事が出来た。また、障害児の余暇支援活動「きらっとハピネス♡」の活動支援を行っており、中学生・高校生のボランティアは活動を通して障害のある方についての理解や配慮、地域で一緒に生活していく仲間意識を体感し、思いやりの心を育てる機会とする事が出来た。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・ 施設利用者が利用しやすいようご意見をいただきながら、場所の設定、安全性・実用性を考慮した備品配置になるよう、定期的に検討した。
- ・ 施設内外で植物の育成を行い、季節感を味わっていただけるようにした他、ボランティアに協力いただき、植栽の手入れや鉢植えをお借りするなどして景観の美化を図った。
- ・ 利用者からのご意見・苦情を参考にし、施設内外の環境改善を図った。
- ・ チラシ設置スペースを整理し、見やすく分かりやすいように配置を工夫した。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

看護師・社会福祉士・主任ケアマネジャーの3職種
介護予防プラン作成の為にプランナー2名

《目標に対する成果等》

自立支援を目標に、予防プランの作成と、地域におけるインフォーマルサービスの情報提供をすることが出来た。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●特に現在のところ徴収するものはない。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域の民生委員・児童委員連絡会や自治会役員会、地区社会福祉協議会、老人会、食事会、ケアプラザの各自主事業等の集まりで介護予防について紹介をした。

地域包括支援センターの事業内容についてパンフレットを作成し、配布した。

資質向上の為に各種研修（個人情報保護法、医療と介護、虐待、認知症予防プラン研修、事例検討会等）や施設見学（介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、通所介護施設等）を行った。

今後も利用者により良い情報が提供できるようにしていきたい。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
332	210	217	219	216	217
10月	11月	12月	1月	2月	3月
220	227	234	222	216	234

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（介護支援専門員と兼務）
- ・ 介護支援専門員 3名（常勤3名）

・ 区役所からの認定調査の委託を受け、区外から受けた分を含めて261件実施した。

《目標に対する取組状況》

- ・ 自立支援を目標に置いたケアプランを提案した。そのためにご利用者・ご家族が長年培った生き方・暮らし方を受け止め尊重し、意欲が高まるよう支援を行った。
- ・ ケアプランを担当ケアマネジャーひとりで抱え込まないよう、事業所全員で共有し、緊急時でも迅速に対応できる体制を整えた。
- ・ 介護保険外のサービスを含めた情報収集を多元的に行い、効率的に活用できるよう項目別に整理し、より良い支援に活かした。
- ・ 介護保険法改正に合わせた研修を集団指導講習会資料を基に行い、法令順守に努めるように努力した。
- ・ 居宅委員会の中に「研修担当」「ファイル担当」「帳票担当」を設置し、分担して委員会活動を実施した。
- ・ 認定調査についても、判断基準に基づいて調査を実施した。
- ・ 緊急災害時や苦情・事故・業務・感染症等のマニュアルの見直しを行った。
- ・ 地域包括支援センターより支援が困難な事例の受け入れまたは常に地域包括支援センターとの連携を図る（特定事業所加算Ⅱ）

《実費負担》

- エリア外への認定調査実施時の交通費

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 地域包括支援センターを併設しており、3職種との連携で相談対応や同行訪問等ができるため、対応が早い。併設の特別養護老人ホーム「グリーンサイド清盛」と連携している。
- ・ 広報誌「あなたと優駿」にワンポイントアドバイスや介護保険情報、その他の情報提供を掲載し、地域の皆様にお知らせした。
- ・ 介護保険関係等の最新の情報を共有化し、利用者・家族等に情報提供できるように権利擁護・虐待などの研修を年間で立て実施した。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
予防 24 介護 139	予防 23 介護 135	予防 22 介護 138	予防 22 介護 134	予防 24 介護 131	予防 22 介護 129
10月	11月	12月	1月	2月	3月
予防 22 介護 127	予防 23 介護 129	予防 23 介護 123	予防 22 介護 121	予防 21 介護 119	予防 19 介護 122

《その他》

チームカンファレンス（毎月1回）

- ・事務効率化について、全員で検討した。
- ・新規、更新ケアプランを全員で検討した。
- ・困難事例ケアプランを全員で検討した。
- ・事業所情報を全員で共有した。
- ・制度動向の把握や法令遵守について集団指導講習の資料に基づき検討した。
- ・研修参加後の情報共有を行った。
- ・個人情報保護法の見直し研修を全員で行った。
- ・特定事業所加算Ⅱの算定要件を実施した

施設見学

- ・新設の施設や各種介護サービスを見学した。

施設外研修

- ・介護保険指定事業者指導講習会
- ・旭ケアマネット
- ・事例検討会「ダリア」
- ・ケアマネジャー事業所連絡会
- ・地域包括支援センター主催の事業
- ・主任ケアマネジャー勉強会
- ・地域ケア会議の参加
- ・特定事業所加算要件のスキルアップ研修

事業所内研修

- ・虐待権利擁護
- ・接遇マナー
- ・自己評価
- ・個人情報
- ・リスクマネジメント
- ・感染について
- ・人権について
- ・社会資源の活用
- ・スキルアップ研修
- ・満足度調査振り返り
- ・業務見直し
- ・倫理及び法令遵守
- ・事業所内事例検討会

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 食事
- 送迎
- 機能訓練（日常動作訓練、個別機能訓練）
- 健康状態の確認
- 生活指導（相談援助等）

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分

（要介護1）	692円
（要介護2）	816円
（要介護3）	947円
（要介護4）	1,076円
（要介護5）	1,205円

- 食費負担 650円
- 個別機能訓練加算(Ⅱ) 60円
- 認知症加算 65円
- 中重度者ケア体制加算 49円
- サービス提供体制加算(Ⅰ)1 20円
- 介護職員処遇改善加算(Ⅰ) 4%
- 入浴介助加算 54円
- オムツ(小) 183円
- オムツ(大) 211円
- パット(小) 30円
- パット(大) 40円
- パット(フラット) 70円
- 連絡帳 100円

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:30~16:40

《職員体制》

- | | |
|---------|-------------------------|
| 管理者 | 1名 |
| 生活相談員 | 2名（常勤1名・兼務1名） |
| 看護職員 | 4名（常勤1名・非常勤3名） |
| 介護職員 | 10名（常勤・専従4名 兼務1名 非常勤5名） |
| 調理員 | 2名（常勤1名・非常勤1名） |
| 機能訓練指導員 | 4名（常勤・兼務1名 非常勤・兼務3名） |
| 運転士 | 2名（非常勤2名） |

《目標に対する成果等》

高齢者に、入浴、食事、機能訓練等のサービスを提供し、身体的にも精神的にも健康で、在宅生活を送る為の支援を行う。また、それによって要介護者を抱える家族の介護負担の軽減を図った。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・併設の特別養護老人ホーム グリンサイド清盛の利用者、まきが原幼稚園・まきが原愛児園の園児との交流行事を定期的を実施。
- ・デイサービス利用者の家族、地域住民を対象に、介護技術や健康・福祉に関する情報を提供する「みんなで介護」を2ヶ月に1回程度実施。
- ・特別養護老人ホーム グリンサイド清盛と合同の防災訓練を1～2ヶ月に1回（年間11回）実施し、防災対策に努めた。
- ・日々のデイサービスの活動や、各種の行事の際に地域のボランティアの協力を得たり、貸室利用者との交流を持つなど、地域住民と利用者との関係を深めた。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
606	628	617	610	624	623
10月	11月	12月	1月	2月	3月
672	623	581	529	519	577

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 食事
- 送迎
- 機能訓練（日常動作訓練、個別機能訓練）
- 健康状態の確認
- 生活指導（相談援助等）
- 運動器機能向上

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要支援1） 1,766円
 - （要支援2） 3,621円
- 食費負担 650円
- 運動器機能向上加算 242円
- 生活機能向上グループ活動加算 108円
- 予防通所サービス提供体制加算

支援1	78円
(I)1 支援2	155円
- 介護職員処遇改善加算 4%
- オムツ（小） 183円
- オムツ（大） 211円
- パット（小） 30円
- パット（大） 40円
- パット（フラット） 70円
- 連絡帳 100円

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:30～16:40

《職員体制》

- | | |
|---------|-------------------------|
| 管理者 | 1名（常勤） |
| 生活相談員 | 2名（常勤1名・兼務1名） |
| 看護職員 | 4名（常勤1名・非常勤3名） |
| 介護職員 | 10名（常勤・専従4名 兼務1名 非常勤5名） |
| 調理員 | 2名（常勤1名・非常勤1名） |
| 機能訓練指導員 | 4名（常勤・兼務1名 非常勤・兼務3名） |
| 運転士 | 2名（非常勤2名） |

《目標に対する成果等》

利用者の生活機能の低下の予防や、認知症の予防の為にプログラムを実施する事によって、住み慣れた地域で継続して生活できるよう支援を行った。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・併設の特別養護老人ホーム グリンサイド清盛の利用者、まきが原幼稚園・まきが原愛児園の園児との交流行事を定期的実施。
- ・デイサービス利用者の家族、地域住民を対象に、介護技術や健康・福祉に関する情報を提供する「みんなで介護」を2ヶ月に1回程度実施。
- ・特別養護老人ホーム グリンサイド清盛と合同の防災訓練を1～2ヶ月に1回（年間11回）実施し、防災対策に努めた。

- ・日々のデイサービスの活動や、各種の行事の際に地域のボランティアの協力を得たり、貸室利用者との交流を持つなど、地域住民と利用者との関係を深めた。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
11	10	13	13	13	12
10月	11月	12月	1月	2月	3月
13	12	11	10	11	12

平成30年度「万騎が原地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,415,949	0	18,415,949	18,351,325	64,624	横浜市より
利用料金収入	0	0	0	0	0	
指定管理料充当 事業	0	0	0	293,550	△ 293,550	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	0	0	0	0	0	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	0	0	0	0	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)	0	0	0	0	0	
収入合計	18,415,949	0	18,415,949	18,644,875	△ 228,926	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,689,000	0	10,689,000	10,740,425	△ 51,425	
本俸	7,200,000	0	7,200,000	7,200,942	△ 942	
社会保険料	885,000	0	885,000	875,019	9,981	
手当計	2,319,000	0	2,319,000	2,358,245	△ 39,245	
健康診断費	44,000	0	44,000	52,583	△ 8,583	
勤労者福祉共済掛金	140,000	0	140,000	139,063	937	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	95,000	0	95,000	94,803	197	退職共済掛金
その他	6,000	0	6,000	19,770	△ 13,770	社会福祉従事者保険
事務費	640,800	0	640,800	2,262,984	△ 1,622,184	
旅費	5,000	0	5,000	1,470	3,530	
消耗品費	100,000	0	100,000	283,676	△ 183,676	コピー用紙・インクトナー他消耗品
会議随費	5,000	0	5,000	7,256	△ 2,256	会議茶菓子代
印刷製本費	0	0	0	0	0	
通信費	100,000	0	100,000	281,335	△ 181,335	電話代・広報誌送料・切手代等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	1,506,585	△ 1,506,585	
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	0	0	0	0	0	
職員等研修費	5,000	0	5,000	0	5,000	研修会費・旅費
振込手数料	0	0	0	10,790	△ 10,790	
リース料	200,000	0	200,000	62,762	137,238	印刷機・複合機リース等
手数料	220,000	0	220,000	0	220,000	委託費 (経理事務・社会保険事務)
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	5,800	0	5,800	109,110	△ 103,310	
事業費	1,187,829	0	1,187,829	349,758	838,071	
運営協議会経費	42,000	0	42,000	18,523	23,477	
指定管理料充当 事業	1,145,829	0	1,145,829	331,235	814,594	
管理費	4,981,200	0	4,981,200	4,918,185	63,015	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	
光熱水費	3,318,586	0	3,318,586	3,171,876	146,710	
電気料金	536,462	0	536,462	512,746	23,716	
ガス料金	1,154,270	0	1,154,270	1,103,241	51,029	
水道料金	1,627,854	0	1,627,854	1,555,889	71,965	
清掃費	340,481	0	340,481	300,755	39,726	ダスキン定期清掃・ダスキンマットレンタル等
修繕費	474,000	0	474,000	441,376	32,624	非常灯・照明安定器修繕・ドア修繕等
機械警備費	74,946	0	74,946	74,946	0	セコムオンライン警備
設備保全費	773,187	0	773,187	929,232	△ 156,045	
空調衛生設備保守	0	0	0	0	0	
消防設備保守	126,043	0	126,043	126,043	0	平山防災消防設備保守
電気設備保守	34,350	0	34,350	34,350	0	神奈川ナブコ自動扉保守
害虫駆除清掃保守	0	0	0	0	0	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	612,794	0	612,794	768,839	△ 156,045	みやした園芸植栽管理・富士冷熱建物設備保守
共益費	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
公租公課	855,120	0	855,120	859,234	△ 4,114	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	855,120	0	855,120	859,234	△ 4,114	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他 ()	0	0	0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費	0	0	0	0	0	
支出合計	18,353,949	0	18,353,949	19,130,586	△ 776,637	
差引	62,000	0	62,000	△ 485,711	547,711	

自主事業費収入	1,145,829		1,145,829	293,550	852,279	自主事業への参加料等
自主事業費支出	1,145,829		1,145,829	331,235	814,594	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 37,685	37,685	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「万騎が原地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	34,260,116	0	34,260,116	29,079,087	5,181,029	横浜市より
指定管理料（介護予防）	144,000		144,000	144,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0	600	△ 600	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0	0	0	
自主事業収入	0		0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当分）	0		0	0	0	
その他（提案時控除 法人負担分）	0		0	0	0	
収入合計	40,193,116	0	40,193,116	35,012,687	5,180,429	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	36,479,000	0	36,479,000	30,884,666	5,594,334	
本俸	18,800,000		18,800,000	16,151,347	2,648,653	
社会保険料	4,711,000		4,711,000	4,122,503	588,497	
手当計	11,700,000		11,700,000	9,387,785	2,312,215	
健康診断費	52,000		52,000	54,447	△ 2,447	
勤労者福祉共済掛金	590,000		590,000	590,737	△ 737	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	600,000		600,000	487,613	112,387	退職共済掛金
その他	26,000		26,000	90,234	△ 64,234	社会福祉従事者保険
事務費	365,143	0	365,143	1,079,488	△ 714,345	
旅費	5,000		5,000	34,350	△ 29,350	
消耗品費	50,000		50,000	82,826	△ 32,826	コピー用紙・インクトナー他消耗品
会議賄い費	5,000		5,000	0	5,000	会議茶菓子代
印刷製本費	0		0	0	0	
通信費	40,000		40,000	98,035	△ 58,035	電話代・広報誌送料・切手代等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	722,805	△ 722,805	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	20,000		20,000	0	20,000	研修会費・旅費
振込手数料	0		0	2,867	△ 2,867	
リース料	180,000		180,000	16,682	163,318	複合機リース等
手数料	60,000		60,000	0	60,000	委託費(経理事務・社会保険事務)
地域協力費	0		0	0	0	
その他	5,143	0	5,143	121,923	△ 116,780	消火栓広告等
事業費	2,008,715	0	2,008,715	648,635	1,360,080	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	
指定管理料充当 事業（包括）	925,715		925,715	16,331	909,384	
指定管理料充当 事業（介護予防）	144,000		144,000	109,554	34,446	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000	18,750	290,250	
管理費	1,340,258	0	1,340,258	1,307,359	32,899	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	870,655	0	870,655	843,156	27,499	
電気料金	142,603		142,603	136,299	6,304	
ガス料金	306,831		306,831	293,266	13,565	
水道料金	421,221		421,221	413,591	7,630	
清掃費	90,506		90,506	79,945	10,561	ダスキン定期清掃・ダスキンマットレンタル等
修繕費	126,000		126,000	117,326	8,674	非常灯・照明安定器修繕・ドア修繕等
機械警備費	19,922		19,922	19,922	0	セコムオンライン警備
設備保全費	233,175	0	233,175	247,010	△ 13,835	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	33,505		33,505	33,505	0	平山防災消防設備保守
電気設備保守	9,131		9,131	9,131	0	神奈川ナブコ自動扉保守
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	190,539		190,539	204,374	△ 13,835	みやした園芸植栽管理・富士冷熱建物設備保
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他（ ）	0		0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0		0	0	0	
当該施設分	0		0	0	0	
二一ズ対応費	0		0	0	0	
支出合計	40,193,116	0	40,193,116	33,920,148	6,272,968	
差引	0	0	0	1,092,539	△ 1,092,539	

自主事業費収入	0		0	600	△ 600	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0	144,635	△ 144,635	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 144,035	144,035	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 万騎が原地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	3,400	7,875	-4,475	26,000	26,963	-963	84,000	81,390	2,610	3,400	4,420	-1,020
	その他	5,570	114	5,456	2,400	2,769	-369	2,000	3,061	-1,061	10	10	0
	介護予防ケアマネジメント費	5,500	40	5,460	2,000	2,423	-423		0	0			0
	事業・負担金収入			0			0		0	0			0
	雑収入他			0			0	600	746	-146			0
	資産取崩収入			0			0		1,000	-1,000			0
				0			0			0			0
	その他	70	74	-4	400	346	54	1,400	1,315	85	10	10	0
収入合計(A)		8,970	7,989	981	28,400	29,732	-1,332	86,000	84,451	1,549	3,410	4,430	-1,020
支出	人件費	7,000	8,631	-1,631	22,200	22,210	-10	64,000	64,035	-35	2,500	2,743	-243
	事務費	1,900	2,492	-592	4,500	4,864	-364	9,500	8,143	1,357	400	1,085	-685
	事業費	0		0	0	0	0	4,500	4,188	312	200	244	-44
	管理費	0		0	0	0	0	4,600	5,900	-1,300	300	437	-137
	その他	70	74	-4	400	346	54	1,400	1,315	85	10	10	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他	70	74	-4	400	346	54	1,400	1,315	85	10	10	0
支出合計(B)		8,970	11,197	-2,227	27,100	27,420	-320	84,000	83,581	419	3,410	4,519	-1,109
収支 (A)-(B)		0	-3,208	3,208	1,300	2,312	-1,012	2,000	870	1,130	0	-89	89

平成30年度 自主事業収支報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.01

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
子育て広場 「あいうえお〜っ！」	子どもと保護者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	442名		包括						
	無料		介護						
			生活						
優駿のさと 「サロン」	高齢者	41,298	地活	9,498	31,800	0	4,000	37,298	
	106名		包括						
	1回300円		介護						
			生活						
万騎が原 わくわく体操	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	123名		包括						
	無料		介護						
			生活						
健康 チェックデー	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	141名		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
みんなで介護	地域住民	2,000	地活	0	0	0	0	0	0
	53名		包括	2,000	0	0	2,000	0	0
	無料		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
音楽サロン 「ロココーネ」	地域住民	23,800	地活	0	23,800	0	23,800	0	0
	119名		包括						
	1回200円		介護						
			生活						
万騎が原 笑い体操教室	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	114名		包括						
	共催(CP関与せず)		介護						
			生活						
書道教室 「扶桑」	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	188名		包括						
	共催(CP関与せず)		介護						
			生活						
書道教室 「睦月」	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	175名		包括						
	共催(CP関与せず)		介護						
			生活						
書道教室 「如月」	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	182名		包括						
	共催(CP関与せず)		介護						
			生活						
詩吟教室 「吟声」	地域住民	3,000	地活	3,000	0	0	0	0	3,000
	4名		包括						
	無料		介護						
			生活						
折り紙クラブ 「木蓮」	地域住民	10,200	地活	0	10,200	0	10,200	0	0
	102名		包括						
	1回100円		介護						
			生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.02

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
音読の会 「初音」	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	54名		包括						
	無料		介護						
			生活						
お休み処 「かけはし」	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	47名		包括						
	共催(収支は団体持ち)		介護						
			生活						
いきいき会	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	143名		包括						
	共催(収支は団体持ち)		介護						
			生活						
万騎が原 お楽しみ会	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	192名		包括						
	共催(収支は団体持ち)		介護						
			生活						
ホームカーリング 倶楽部	地域住民	6,480	地活	6,480	0	0	0	0	6,480
	25名		包括						
	無料		介護						
			生活						
合同歌声喫茶 2018	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	449名		包括						
	共催(収支は団体持ち)		介護						
			生活						
能楽に 触れてみよう	地域住民	46,000	地活	0	46,000	0	46,000	0	0
	92名		包括						
	1回500円		介護						
			生活						
子ども書道教室 「初風」	小・中学生	53,100	地活	0	53,100	0	53,100	0	0
	177名		包括						
	1回300円		介護						
			生活						
車いす体験 勉強会	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	6名		包括						
	無料		介護						
			生活						
カリグラフィー 講座	地域住民	33,000	地活	0	33,000	0	33,000	0	0
	33名		包括						
	1回1000円		介護						
			生活						
公園で遊ぼう！	子どもと保護者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	380名		包括						
	無料		介護						
			生活						
出張ひろばin みなまきラボ	子どもと保護者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	275名		包括						
	無料		介護						
			生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.03

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
図書コーナー	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	40名		包括						
	無料		介護						
			生活						
優駿 ミニギャラリー	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	1510名		包括						
	無料		介護						
			生活						
ふらっとハイム	地域住民	0	地活						
	125名		包括						
	無料		介護						
			生活	0	0	0	0	0	0
囲碁クラブ 「天元」	地域住民	11,100	地活	0	11,100	0	11,100	0	0
	111名		包括						
	1回100円		介護						
			生活						
リズム体操と 計測会	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	107名		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		介護						
			生活						
こども日本舞踊	未就学児・小学生	56,000	地活	0	56,000	0	56,000	0	0
	112名		包括						
	1回500円		介護						
			生活						
「連鶴」 を作しましょう！	地域住民	3,000	地活	0	3,000	0	3,000	0	0
	15名		包括						
	200円		介護						
			生活						
大人の絵本カフェ	地域交流	0	地活	0	0	0	0	0	0
	4名		包括						
	無料		介護						
			生活						
カサ布でエコバック を作ろう！	地域住民	200	地活	0	200	0	200	0	0
	2名		包括						
	1回100円		介護						
			生活						
文香作りを してみましょう！	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	5名		包括						
	無料		介護						
			生活						
食育講座	子どもと保護者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	35名		包括						
	無料		介護						
			生活						
みんなの集いの場	地域住民	3,845	地活						
	135名		包括						
	無料		介護						
			生活	3,845	0	0	0	0	3,845

平成30年度 自主事業収支報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.04

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
親子救急救命講習	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	10名		包括						
	無料		介護						
			生活						
ケアプラザ大掃除会 夏の陣	貸室利用団体	0	地活	0	0	0	0	0	0
	13名		包括						
	無料		介護						
			生活						
フットケア講座	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	8名		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		介護						
			生活						
キラキラパフェ作り	地域住民(親子)	1,624	地活	374	1,250	0	0	1,624	0
	5名		包括						
	1回250円		介護						
			生活						
万騎が原 親子の広場	子どもと保護者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	13名		包括						
	無料		介護						
			生活						
万騎が原地区 敬老会	万騎が原地区の高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	400名		包括						
	共催(収支は共催相手持ち)		介護						
			生活						
講演会「便秘について」	地域住民	0	地活						
	14名		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		介護						
			生活						
そば打ち体験教室	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	13名		包括						
	共催(収支は団体持ち)		介護						
			生活						
桐が作ほっと	地域住民	0	地活						
	53名		包括						
	共催(収支は団体持ち)		介護						
			生活	0	0	0	0	0	0
秋草自治会敬老会	秋草自治会住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	40名		包括						
	共催(収支は団体持ち)		介護						
			生活						
ちりめんストラップ を作ろう!	地域住民	1,300	地活	0	1,300	0	0	1,300	0
	13名		包括						
	1回100円		介護						
			生活						
あさがお プレイランド	子どもと保護者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	66名		包括						
	無料		介護						
			生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.05

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
男の料理術！	成人男性	0	地活	0	0	0	0	0	0
	3名		包括						
	食材費自己負担		介護						
			生活						
ボランティア講座 「雑巾縫い」	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	2名		包括						
	無料		介護						
			生活						
「鶴の華」 を作りました	地域住民	800	地活	0	800	0	0	800	0
	4名		包括						
	1回200円		介護						
			生活						
エンディングノート 活用講座	地域住民	0	地活						
	34名		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		介護						
			生活						
旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー 出展事業	地域住民	345	地活	345	0	0	0	0	345
	450名		包括						
	無料		介護						
			生活						
無料個別相談会	地域住民	3,000	地活						
	3名		包括	3,000	0	0	3,000	0	0
	無料		介護						
			生活						
包丁研ぎ講座	地域住民	7,138	地活	2,638	4,500	0	2,000	5,138	0
	9名		包括						
	1回500円		介護						
			生活						
みなまきひなまつり	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	20名		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		介護						
			生活						
布ぞうりを 作りました！	地域住民	9,000	地活	0	9,000	0	9,000	0	0
	18名		包括						
	1回500円		介護						
			生活						
ボランティア講師 交流会	ボランティア講師	8,030	地活	8,030	0	0	0	8,030	0
	11名		包括						
	無料		介護						
			生活						
通所介護 ボランティア交流会	通所介護ボランティア	0	地活	0	0	0	0	0	0
	4名		包括						
	無料		介護						
			生活						
空色ドーナツを 作りました！	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	8名		包括						
	共催(CP関与せず)		介護						
			生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.06

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
あけまして能楽講座	地域住民	3,500	地活	0	3,500	0	3,500	0	0
	7名		包括						
	1回500円		介護						
			生活						
抹茶を楽しむ会	地域住民	5,320	地活	5,320	0	0	0	5,320	0
	50名		包括						
	無料		介護						
			生活						
みんなでジャム作り	地域住民・障害事業所利用者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	10名		包括						
	共催(収支は団体持ち)		介護						
			生活						
認知症サポーター養成講座	地域住民	2,000	地活	2,000	0	0	2,000	0	0
	26名		包括	0					
	無料		介護	0					
			生活						
ケアプラザ大掃除会 冬の陣	貸室利用団体	0	地活	0	0	0	0	0	0
	5名		包括						
	無料		介護						
			生活						
こども日本舞踊 あんずの会	未就学児・小学生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	129名		包括						
	共催(収支は団体持ち)		介護						
			生活						
大人向け浴衣の着付け &所作講座	成人女性	5,000	地活	0	5,000	0	5,000	0	0
	10名		包括						
	1回500円		介護						
			生活						

平成30年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.01

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て広場 「あいうえお 〜っ！」	<p><目的> 乳幼児から幼稚園入園までの子ども及び保護者等を対象に、地域の方たちと子育てについての交流や学習で多世代にわたるふれあいを行う。</p> <p><内容> 毎月、乳幼児から幼稚園入園までの子ども及び保護者等を対象に様々な子育て支援活動を行った。</p>	毎月第4月曜日 ※12月は 第3月曜日 (12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
優駿のさと 「サロン」	<p><目的> 独居、日中独居、外出の機会の少ない高齢者を対象に仲間作り、閉じこもり予防や認知症予防を図る。</p> <p><内容> 参加者の要望などを取り入れながら、その月々で興味ある小物作り(縫い物、工作、お菓子作り)を行った。また、作業を通してお話をしてもらいながら皆で楽しいひと時を過ごしていただいた。</p>	毎月第2木曜日 ※8月は休み (11回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
万騎が原 わくわく体操	<p><目的> 住み慣れた地域で、健康でいきいきとした生活が続けられるようにするのを目的に、高齢者を対象とした体操等を行う。</p> <p><内容> 健康維持と介護予防のため、頭と体を同時に使った運動等を実施した。</p>	毎月第3月曜日 (12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康 チェックデー	<p><目的> 住み慣れた地域で、健康でいきいきとした生活が続けられることを目指す、高齢者を対象としたサロン活動。</p> <p><内容> 地域の方を対象に健康チェック(身長・体重・血圧・脈拍・体脂肪測定)や体力測定(握力・開眼片足立ち時間測定・長座位体前屈)、ストレッチング、はまちゃん体操等を行い、健康維持を図った。</p>	毎月第1月曜日 (12回)

平成30年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.02

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みんなで介護	<p><目的> 地域の介護者に役立つ講座や交流会等を行う。</p> <p><内容> 協力医による健康講座と地域住民同士で介護についての勉強会や話し合いを行った。</p>	<p>年6回 (6月・9月・10月 ・11月・12月・1月)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
音楽サロン 「ロココーネ」	<p><目的> 地域の高齢者を対象に居場所作りや地域住民同士の交流の場を目的として事業を実施する。</p> <p><内容> 地域高齢者の居場所作りを目的に、講師の先生の指導のもと、歌を歌う他、楽曲にまつわるエピソードについて学んだり、音楽鑑賞などを行った。また、不定期で歌を披露する場を設け、そのための練習を行った。</p>	<p>毎月第1月曜日 (12回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
万騎が原 笑い体操教室	<p><目的> 介護予防と地域活動参加者の発掘、多世代の参加者交流を目的にラフターヨガを実施する。</p> <p><内容> 介護予防と多世代の参加者交流を目的にラフターヨガを実施した。作り笑いで健康の増進を図るラフターエクササイズと、リラクゼーション等実施した。</p>	<p>毎月第1・3 木・金曜日 (24回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
書道教室 「扶桑」	<p><目的> 生涯学習や地域住民同士の交流を目的に地域のボランティア講師に事業を依頼し実施する。</p> <p><内容> 生涯学習や地域住民同士の交流を書道を通して図っていただいた。講座に関しては、地域のボランティア講師に事業を依頼し実施した。また、作品は廊下に展示し、ご利用者の方々などにも見ていただいた。その他、参加者は作品を月刊誌に提出し評価を得た。実施時間は10:00～11:30</p>	<p>毎月第1・3水曜日 (24回)</p>

平成30年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.03

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
書道教室 「睦月」	<p><目的> 生涯学習や地域住民同士の交流を目的に地域のボランティア講師に事業を依頼し実施する。</p> <p><内容> 生涯学習や地域住民同士の交流を書道を通して図っていただいた。講座に関しては、地域のボランティア講師に事業を依頼し実施した。また、作品は廊下に展示し、ご利用者の方々などにも見ていただいた。その他、参加者は作品を月刊誌に提出し評価を得た。実施時間は12:00～13:30</p>	毎月1・3水曜日 (24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
書道教室 「如月」	<p><目的> 生涯学習や地域住民同士の交流を目的に地域のボランティア講師に事業を依頼し実施する。</p> <p><内容> 生涯学習や地域住民同士の交流を書道を通して図っていただいた。講座に関しては地域のボランティア講師に事業を依頼し実施した。また、作品は廊下に展示し、ご利用者の方々などにも見ていただいた。その他、参加者は作品を月刊誌に提出し評価を得た。実施時間は14:00～15:30</p>	毎月1・3水曜日 (24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
詩吟教室 「吟声」	<p><目的> 生涯学習や地域住民同士の交流を目的に地域のボランティア講師に事業を依頼し実施する。</p> <p><内容> 生涯学習や地域住民同士の交流を詩吟を通して図って頂いた。講座に関しては地域のボランティア講師に事業を依頼し実施した。また、不定期で披露する場を設け、そのための練習を行った。</p>	毎月2・4木曜日 (4回) 5月で終了

事業名	目的・内容	実施時期・回数
折り紙クラブ 「木蓮」	<p><目的> 地域高齢者の地域参加や住民同士の交流、介護予防の為に事業を実施する。</p> <p><内容> 地域住民を対象にボランティア講師の方にご協力いただき、毎月違う折り紙の作り方の指導をしていただいた。</p>	毎月第3水曜日 (6月・8月休み) (10回)

平成30年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.04

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
音読の会 「初音」	<p><目的> 地域住民を対象に、地域で活躍できる方の育成や介護予防の為、実施。</p> <p><内容> 参加者は昔話を声に出して一人ずつ読み、発声方法等学んだ。</p>	毎月第4木曜日 (12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お休み処 「かけはし」	<p><目的> 誰もが気軽に立ち寄れるサロンとして、作業所の障害者なども幅広く参加できるお茶飲み会を実施。</p> <p><内容> 福祉保健活動団体の「かけはしねっと」との協力で実施した。誰もが気軽に立ち寄れるサロンとしてお茶飲み会を実施した。 昨年度より、ほっとぽっと及び旭区役所の協力により精神障害者の参加者の受け入れを開始した。</p>	毎月第3木曜日 (12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいき会	<p><目的> 認知症予防を目的とした園芸活動を行った。</p> <p><内容> 認知症予防を目的とした園芸活動を隔週開催にて実施した。 園芸は畑の管理の他、各種作物の栽培・管理・収穫等実施した。その他参加者が持ち寄った企画により様々な活動を行い、参加者同士の交流と生きがい作りを行った。</p>	毎月第1・3金曜日 (26回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
万騎が原 お楽しみ会	<p><目的> 万騎が原お楽しみ昼食会の食事後のプログラムに協力。年4回、介護予防を目的に各種プログラムを実施。</p> <p><内容> 万騎が原地区社協主催事業に介護予防を目的にプログラム協力した。</p>	6月・11月 1月・2月 (4回)

平成30年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.05

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ホーム カーリング 倶楽部	<p><目的> 地域住民の介護予防・健康増進を目的として事業を実施。</p> <p><内容> ホームカーリングの普及に向けた事業。ゲームのルール説明・得点計算について練習会の他、トーナメント形式で競い合った。</p>	5月・9月・3月 (3回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
合同歌声喫茶 2018	<p><目的> 歌好きな方々が集まって仲間作りや健康作り。また外出の機会を作ることで引きこもり予防。区内全ケアプラザの周知。</p> <p><内容> 区内ケアプラザとボランティア団体・歌声喫茶オアシスと実行委員会形式で運営。歌の好きな方に集まっていたいただき歌の会を行った。</p>	5月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
能楽に 触れてみよう	<p><目的> ボランティア講師の活躍の場の提供と地域ニーズ発掘、生涯学習を目的に事業を実施。</p> <p><内容> 地域住民を対象にボランティア講師の協力で能楽についての指導を実施していただいた。 各月の題材についての用語の説明と解説、音読と実演などを行った。</p>	毎月第1水曜日 (11回) 1月休み

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子ども書道教室 「初風」	<p><目的> ボランティアの活躍の場の創出と、こどもの健全育成を目的に実施。</p> <p><内容> 地域の子供を対象に、ボランティア講師の指導のもと、教科書を参考に書道教室を実施。 子どもの年齢に応じて毛筆の他に硬筆の指導を行った。</p>	毎月第1・3・5 土曜日 (25回)

平成30年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.06

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
車いす体験勉強会	<p><目的> 地域住民ボランティア育成を目的に講座を実施。参加者が地域社会へ貢献できるように働きかける。</p> <p><内容> ボランティア育成を目的に実施。ボランティア活動に際しての心構えについての講義と、高齢者のボランティア活動を主眼においた車椅子体験指導等を行った。</p>	6月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カリグラフィー講座	<p><目的> 地域交流と生涯学習を目的に事業を実施。</p> <p><内容> 地域交流と生涯学習を目的に地域のボランティアに協力いただき、カリグラフィー講座を実施。道具の使い方、書き方の指導を継続して実施していただいた。</p>	毎月第3月曜日 ※ 8・1月休み (10回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
公園で遊ぼう！	<p><目的> 屋内で遊ぶことが多い親子を対象に、外遊びのきっかけを作る他、公園での遊び方について伝えるために地域子育て支援拠点「ひなたぼっこ」に協力いただき実施。</p> <p><内容> 万騎が原公園を使用しての公園遊びを実施。砂場や遊具を使って遊んでいただくほか、最後にはひなたぼっこの講師の協力のもと、みんなで出来るゲーム等実施。また、事業には万騎が原地区社協をはじめとした地域の方にも協力いただいた。</p>	毎月第2水曜日 ※8月の他 雨天中止 (10回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張ひろばin みなまきラボ	<p><目的> ケアプラザから離れたエリアでの子育て支援の場の創出と、情報交換の場として実施。</p> <p><内容> 南万騎が原駅の再開発で出来た地域交流拠点「みなまきラボ」を活用し、ひなたぼっこに協力いただき親子を対象に子育て広場を開催。毎月1回、親子同士で遊ぶ場と情報交換の場として開催した。</p>	毎月第1金曜日 (12回)

平成30年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.07

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
図書コーナー	<p><目的> 地域社会の憩いの場として、地域の方々が気軽に立ち寄れるような場所を提供する。</p> <p><内容> 本の貸し出しを行った。</p>	常設

事業名	目的・内容	実施時期・回数
優駿 ミニギャラリー	<p><目的> 地域社会の憩いの場として、地域の方々が気軽に立ち寄れるような場所を提供する。</p> <p><内容> 地域の人が描いた絵画・絵手紙・習字等の作品の展示を行った。</p>	常設

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふらっとハイム	<p><目的> 万騎が原ハイムと近隣の地域の方が、誰でも気軽に立ち寄れるオープンサロンを実施。</p> <p><内容> 万騎が原ハイム自治会の協力により、近隣の方が誰でも立ち寄れるオープンサロンを集会所で実施。サロン開催前には民生委員を中心に事前打合せを行い内容を決める。各回お茶飲み会、手芸を中心に実施。また、1時間を包括による出張相談の「よろず相談」を開催した。</p>	毎月第3木曜日 1月休み (11回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁クラブ 「天元」	<p><目的> 生涯学習及び地域住民同士の交流や介護予防、男性の外出機会の創出を目的に行う。</p> <p><内容> 参加者を初心者とある程度囲碁が出来る方に分け、初心者には基本ルールの説明の他、対局を実施。中級者には対局を実施しながら講評を行った。</p>	第1・3木曜日 (23回) 9月1回休み

平成30年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.08

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
リズム体操と計測会	<p><目的> 地域の住民を対象に、健康増進、介護予防を図る為の事業を実施。</p> <p><内容> 地域包括支援センターとの共催事業。地域の住民を対象に、リズムを通して気軽にできる軽運動と、健康チェックデーと同様の計測会を行った。</p>	毎月第3木曜日 (12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こども日本舞踊	<p><目的> 子育て支援と、子育て中のお母さん(日本舞踊講師)が地域で活躍する場の創出を目的に実施。</p> <p><内容> ボランティア講師の協力により、地域の親子を対象に日本舞踊の体験講座を実施。使用する道具の説明の他、基本的な所作の指導や簡単な動きを学んでいただいた。</p>	4月～9月 (10回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「連鶴」を作りました！	<p><目的> 地域住民同士の交流や介護予防を目的に実施。</p> <p><内容> ボランティア講師の協力のもと、お年寄りから子供まで、折り紙の「連鶴」を作成しながら、多世代の交流を図っていただいた。</p>	8月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人の絵本カフェ	<p><目的> 地域の方を対象に、気軽に立ち寄れる居場所づくりの一つとして実施。</p> <p><内容> 「まちづくりポット」に協力していただき、地域の方が気軽に立ち寄れる居場所づくりを絵本を通して実施。絵本を読む場所として自由に利用していただいた。</p>	4月 (1回)

平成30年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.09

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
かさ布でエコバックを作ろう	<p><目的> 地域住民の交流・ボランティア発掘・生涯学習を目的として事業を実施。</p> <p><内容> 地域住民同士の交流と環境に関する知識について学んでいただく為、講座を実施。かさ布でエコバックを作成した。</p>	5月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
文香作りをしてみましょう！	<p><目的> 地域住民同士の交流や介護予防を目的に実施。</p> <p><内容> 地域の方を対象に好きなお香を持ち寄り、文香作りを学んでいただいた。</p>	6月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
食育講座	<p><目的> 地域の親子の食育についての意識や知識を高めるため実施。</p> <p><内容> 万騎が原愛児園との共催事業。地域の親子を対象に、食育についての寸劇や栄養についての話、試食会などを実施した。</p>	6月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなの集いの場	<p><目的> 南本宿公園の近隣の方々が、誰でも気軽に立ち寄れる集いの場として実施。</p> <p><内容> 南本宿公園にあるレストハウスの近隣の、南本宿地区、万騎が原地区の方々が、気軽に立ち寄り集まれる場として開催した。</p>	毎月第4火曜日 12月1月2月休み (9回)

平成30年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.10

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子救急救命講習	<p><目的> 地域の親子等を対象にAEDの使用方法和救急救命の措置について学ぶ。</p> <p><内容> 南本宿消防出張所の所長に協力頂き、親子と施設職員、ボランティア等を対象に、成人と乳幼児それぞれの心肺蘇生法の方法と実践、AEDの使用方法について学んでいただいた。</p>	8月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ大掃除会夏の陣	<p><目的> 施設の適正利用の周知と、施設に愛着を持っていただくため、普段施設を利用されている活動団体に協力していただき、貸室内清掃を実施。</p> <p><内容> 施設の適正利用の周知と、施設に愛着を持っていただくため、普段施設を利用されている活動団体に協力していただき、貸室内清掃を実施。 調理室を含めた貸室のすべてを参加した活動団体の代表者が分担して清掃した。</p>	8月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フットケア講座	<p><目的> 地域住民の健康増進や介護予防を目的に地域包括支援センターとの共催で事業を実施。</p> <p><内容> 地域包括支援センターより足の健康とケアについての講義と、地域活動交流より足浴とフットマッサージ指導を行った。</p>	9月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キラキラパフェ作り	<p><目的> 地域住民の交流の場の創出の為、事業を実施。</p> <p><内容> 地域の親子を対象にキラキラパフェ作りを行った。</p>	8月 (1回)

平成30年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.11

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
万騎が原 親子の広場	<p><目的> 地域の親子の居場所づくりの一環として実施。</p> <p><内容> ケアプラザの貸室(多目的ホール)を開放し、地域の親子に自己管理のもと自由に遊んでいた。</p>	10月・11月 (2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
万騎が原地区 敬老会	<p><目的> 万騎が原地区の高齢者の方をお祝いする会。地区社会福祉協議会主催の事業にケアプラザも介護予防の周知を目的に参加。</p> <p><内容> 万騎が原地区社協主催の万騎が原地区の敬老会に協力。アトラクションの「こども日本舞踊」や「健康体操」の他、救護や誘導の協力を行った。</p>	9月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
講演会 「便秘について」	<p><目的> 地域住民の健康増進の為の市民講座を実施。</p> <p><内容> 地域の方を対象に、協力医の一色外科胃腸科の一色先生に協力いただき、便秘のメカニズムと疾病、便秘を予防するための食生活や運動(ストレッチ等)の紹介をしていただいた。</p>	9月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
そば打ち 体験教室	<p><目的> 地域住民の多世代交流の場の提供と男性の調理参加と、そば打ち研修を目的に事業を実施。</p> <p><内容> 生粉打ち愛好会協力のもと、美味しいそば作りを目指す。また、試食しながら楽しくそば談義をしていただいた。</p>	9月 (1回)

平成30年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.12

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
桐が作ほっと	<p><目的> 桐が作地区と近隣の地域の方が、誰でも気軽に立ち寄れるオープンサロンを実施。</p> <p><内容> 桐が作自治会の協力により、近隣の方が誰でも立ち寄れるオープンサロンを集会所で実施。サロン開催前には民生委員を中心に事前打合せを行い内容を決めた。各回お茶飲み会、手芸を中心に実施した。</p>	<p>毎月第4木曜日 1月休み (5回) 10月・11月 1月・2月・3月</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
秋草自治会 敬老会	<p><目的> 地域で行われている活動の支援を行う。</p> <p><内容> 秋草自治会からの依頼で体力測定と脳トレを行った。</p>	<p>10月 (1回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちりめん ストラップ を作ろう！	<p><目的> ボランティア講師の活躍の場の創出と、多世代交流の場の創出を目的に実施。</p> <p><内容> 多世代交流を目的に、地域のボランティア講師に協力をいただき、ちりめんで作れるストラップづくりをみなまきラボにて実施。周知や当日の補助では地元の民生委員の協力もいただいた。</p>	<p>10月 (1回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あさがお プレイランド	<p><目的> 子育て支援を目的に、地域の乳幼児を対象に、地区活動団体に協力していただき各種親子向けの遊びを提供した。</p> <p><内容> 子育て支援事業を地域の活動団体の協力を得て実施した。実施内容はミニゲーム・人形劇・マジック 等</p>	<p>10月 (1回)</p>

平成30年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.13

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
男の料理術！	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民同士の交流 ・老後の自立の為、手軽なメニューの習得 <p><内容></p> <p>地域の男性が集い、楽しみながら料理の基礎を学んでいた。各回募集をかける単発講座を実施した。11月の献立：シューマイ・がんもどき 等</p>	11月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア講座 「雑巾縫い」	<p><目的></p> <p>地域の新しいボランティアさんの発掘を目的に実施。</p> <p><内容></p> <p>地域の方から事前に頂いた布を雑巾にさせていただくための事業を実施。完成した雑巾は施設内清掃等の用途に使用させていただいた。</p>	11月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「鶴の華」を作りましょう	<p><目的></p> <p>地域住民同士の交流や介護予防を目的に実施。</p> <p><内容></p> <p>ボランティア講師の協力のもと、お年寄りから子供まで、折り紙の「連鶴」を作成しながら、多世代の交流を図っていただいた。</p>	12月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エンディングノート活用講座	<p><目的></p> <p>エンディングノートを通して、より良い未来を考えるきっかけづくりの機会とする。</p> <p><内容></p> <p>3回コースで実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目 エンディングノートを書いてみる ・2回目 司法書士による遺言・相続・成年後見についての講座 ・3回目 葬儀社職員による葬儀とお墓についての講座 	10月 (全3回講座)

平成30年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.14

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
旭ふれあい 区民まつり 行政・PRコー ナー 出展事業	<p><目的> 来場しているお客様に地域ケアプラザ及び地域福祉保健計画を知る機会を作る。</p> <p><内容> ①地福計画の推進 ・各ケアプラザ圏域の取組を1つずつパネルで紹介 ・パネル掲示した活動についてのご意見募集と啓発物配布 ②CP機能周知 ・子育て世代を中心とした多世代交流プログラムの実施（わなげ） ・関連ブース連携による、ワードラリー ・各ケアプラザで実施予定の子育て支援事業一覧の配布</p>	10月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
無料個別相談会	<p><目的> 相続や遺言、成年後見制度の活用、老後の住まい等についての相談や手続きの方法について、個別相談会を開催し、安心して生活できるようにする。</p> <p><内容> 司法書士を相談員として老後の住まい、相続、遺言、成年後見などについて、1組50分間で個別に相談していただいた。</p>	2月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
包丁研ぎ講座	<p><目的> 地域住民ボランティア育成を目的に講座を実施。包丁研ぎについて学び、参加者が地域社会へ貢献できるように働きかける。</p> <p><内容> 地域住民のボランティア育成を目的に、ボランティア講師に協力していただき、包丁の研ぎ方についての指導と、包丁の切れ味を試す為に太巻き作りを実施した。</p>	1月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みなまき ひなまつり	<p><目的> 地域おこしイベントに出展し、ケアプラザのPRと障害事業所の物販協力をを行う。</p> <p><内容> 南万騎が原駅前ひな祭りイベントに合わせ、地域の個人・団体の手作り品を販売する趣旨で行われたみなまきラボ主催の地域おこしイベントに参加した。工房アリアールと共に出店。ケアプラザは健康チェック、事業所は自主製品(手作りのクラフト製品)の物販を行った。</p>	3月 (1回)

平成30年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.15

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
布ぞうりを 作りましょう！	<p><目的> 介護予防と地域住民同士の交流、生涯学習(文化学習)を目的に布ぞうりを作成する事業を実施。</p> <p><内容> 布ぞうりの作り方についての説明・鼻緒の作り方・実演と実践等地域のボランティア講師の指導のもと実施した。</p>	2月～3月 (全3回講座)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 講師交流会	<p><目的> 地域活動交流の事業に日頃ご協力いただいているボランティア講師の方を対象に、日頃の感謝と講師同士の交流を目的に交流会を実施。</p> <p><内容> 職員自己紹介・各講師からの事業・自己紹介の他、ホームカーリングの体験会を実施した。</p>	3月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
通所介護 ボランティア 交流会	<p><目的> 通所介護のボランティア活動にご協力いただいている方を対象に日頃の感謝とボランティア同士の交流を目的に交流会を実施。</p> <p><内容> 職員自己紹介・各ボランティアからの自己紹介の他、日頃の活動についての情報交換や施設へのご意見を出していただいた。</p>	3月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
空色ドーナツを 作りましょう！	<p><目的> 地域住民の多世代交流の場の創出を目的に実施。</p> <p><内容> ボランティア講師に協力いただき、樹脂粘土で作るドーナツを通して、交流を図っていただいた。</p>	3月 (1回)

平成30年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.16

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あけまして 能楽講座	<p><目的> ボランティア講師の活躍の場の提供と地域ニーズ発掘、生涯学習を目的に事業を実施。</p> <p><内容> 地域住民を対象にボランティア講師の協力で能楽についての指導を実施していただいた。 通年事業とは別に、新年に合わせ新規参加者を募る目的で周知方法などを工夫し実施した。</p>	1月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
抹茶を楽しむ会	<p><目的> 地域住民同士の交流を目的に抹茶を楽しむ機会として実施。</p> <p><内容> 地域住民同士の交流と日本文化に触れる機会の創出の為、抹茶を楽しむ会を実施した。地域住民をはじめとした施設利用者を対象に、抹茶をふるまった。</p>	1月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで ジャム作り	<p><目的> 地域住民の交流場の創出の為、事業を実施。</p> <p><内容> 地域福祉保健計画の実践団体の「かけはしねっと」との共催で事業を実施。 地域住民の交流の場作りの為、ジャム作りの事業を実施した。</p>	2月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター 養成講座	<p><目撃> 地域住民を対象に、地域で認知症の方の見守りや支援を行うキャラバンメイトの養成を行う講座。</p> <p><内容> キャラバンメイト「ひまわりの会」と万騎が原地区社協との協力のもと、認知症の方の見守りや支援を地域で行う認知症サポーターの養成講座を実施。認知症についての概要の他、実際に認知症の方との関わり方について、寸劇を交えながら講演していただいた。</p>	3月 (1回)

平成30年度 自主事業報告書

万騎が原地域ケアプラザ

No.17

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアプラザ 大掃除会 冬の陣	<p><目的> 施設の適正利用の周知と、施設に愛着を持っていただくため、普段施設を利用されている活動団体に協力していただき、貸室内清掃を行う。</p> <p><内容> 施設の適正利用の周知と、施設に愛着を持っていただくため、普段施設を利用されている活動団体に協力していただき、貸室内清掃を行った。 各貸室を参加した活動団体の代表者が分担して清掃した。</p>	2月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こども日本舞踊 あんずの会	<p><目的> 子育て支援と、子育て中のお母さん(日本舞踊講師)が地域で活躍する場の創出を目的に実施。</p> <p><内容> ボランティア講師の協力により、地域の親子を対象に日本舞踊の体験講座を実施。使用する道具の説明の他、基本的な所作の指導や簡単な動きを学んでいただいた。 11月より自主化に向けた共催事業として再スタートした。</p>	11月より開始 毎週火曜日 (22回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人向け浴衣の 着付け&所作講 座	<p><目的> 子育て支援と、子育て中のお母さん(日本舞踊講師)が地域で活躍する場の創出を目的に実施。</p> <p><内容> ボランティア講師の協力により、地域の方を対象に浴衣の着付けと、基本的な所作の指導や簡単な動きを学んでいただいた。</p>	7月 (2回)